

## プロジェクト名 CLARK THEATER 2016

代表/土橋 一葉 法学部 法学課程 3年

### ■実施の内容

北海道大学クラーク会館の講堂を使用して、学生や市民に開放した北大期間限定映画館「CLARK THEATER 2016」を開催しました。

当イベントは2006年に始まり、今年で11周年になります。年に一度「CLARK THEATER」を開催することで、北海道、札幌の映像産業へ寄与することが目的です。北海道大学の学生が中心となり、作品の選定から広報、当日の運営まで自分たちで行いました。

今年度は、映像産業への寄与という目標にむけて作品の選定を強化しました。そのため、選定作品を絞り、開催日数も減らすことを決断しました。その結果、選定や交渉により時間と費用をかけることができ、例年に増してご来場者の満足度の高い映画祭にこだわることができました。11月26日、27の二日間開催で昨年度の22作品から5作品へとしぼり、一作品あたりの入場者数は昨年度よりプラスとなりました。

また11月の上映会に向け、6月の大学祭にてプレイベントを行うことで、多角的にイベント運営を行うことも目指しました。とくに今回は札幌で初となる学生映画の映画祭とのコラボも実現し、広報効果とともにプレイベントを通じて札幌の未来の映画産業への貢献といった目標も強化できました。

### ■実施時期

2016年11月26日(土)	2016年11月27日(日)
13:50~15:30 『パブリカ』	12:00~13:45 『ロスト・イン・トランスレーション』
16:05~17:25 『ディスタンス』	14:15~16:45 『おとぎ話みたい』『あの娘が海辺で踊ってる』
18:00~20:45 『顔』	ゲスト：山戸結希氏(監督)
ゲスト：金属バット(漫才コンビ)	別会場：16mm映写機フィルム上映会、チョルチョル体操制作記

### ■実施の評価

今年度の目標は、より魅力的で質の高いプログラムを提供することと、大学での上映会という特徴を生かして映像産業へ貢献することでした。そのため、例年よりも日数を減らし、一つ一つの作品選定にこだわること、普段であればなかなか見ることのできない様々なジャンルの作品を上映しました。

特に今回のCLARK THEATERの特徴を表していると言えるのが、一日目の選定作品『ディスタンス』と二日目の最終企画の『山戸結希監督作品上映&トークショー』企画でした。

『ディスタンス』は、山形ドキュメンタリー映画祭選定作品と実力のある作品ですが、北海道での上映機会は本映画祭が初となる貴重な作品でした。作品選定班がシネコンでは上映できないようなすぐれた作品を拾い上映交渉をすることで初上映につなげることができました。実際ご来場された方からは普段見られないような作品との出会いに感動したとの声を多数いただきました。

後者の企画は、若手監督の山戸結希氏をゲストに招聘してトークショーを開催し、更に作品を醸成するといった企画でした。本団体の選定班が上映会に足を運び、監督に直にお会いして交渉した結果、実現したものです。トークショーを行うことで、ご来場者にはただ映画を見るだけではわからないような、映画製作の背景も楽しんでいただきました。ただ一方的に映画を上映するだけでなく、双方向性のあるイベント企画ができました。

アニメ作品からドキュメンタリー作品まで、内容は様々でしたが、幅広い年代の方に楽しんでいただけました。

アンケート結果からは、二日間を通じて、映画作品そのものとの出会いはもちろん、北海道大学にそうした作品と出会える映画館があることの魅力も伝えることができた実感しました。

来年度以降も、多くの方に北大構内で開催する「CLARK THEATER」へ足を運んでいただき、ここでしか味わえない映画体験を提供するによって、映像作品との出会いや発見の喜びを感じていただけるよう邁進して参ります。

#### ■構成員

氏名	学部・研究科名	学科・専攻名	学年
今井 駿司	法学部	法学課程	4
古林 萌	文学部	人文科学科	3
小林 謙太	文学部	人文科学科	2
山崎 健太	法学部	法学課程	2
工藤 真隆	水産学部	増殖生命科学科	2
加藤 大嗣	法学部	法学課程	2
田村 宏哉	経済学部	経済学科	2
蝦名慎太郎	工学部	応用理工学科	2
藤原 魁佑	工学部	応用理工	2

#### ■その他（希望・反省等）

人手不足による負担増加による連携ミスも見られたため、今後は今年度達成できた目標のさらなる実現・定着のためにメンバー増員に力を入れたいです。

#### ■自己採点

##### 【採点項目】

- 当初の目的を達成できた
- 期待される成果・効果をあげられた
- 自主性・創造性を発揮できる機会となった
- 今後の学生生活に役立つ経験であった
- 修学及び研究意欲を高めることができた

5：特にあてはまる

4：あてはまる

3：まああてはまる

2：あまりあてはまらない

1：まったくあてはまらない

